

エコマテリアル・フォーラム連続企画  
世界の”和”の技術としてのエコマテリアルの追求 第1回

アジアに貢献する国際資源循環への道

趣旨

今や、資源はパワー・エコノミーに翻弄される状態になってきており、国レベルだけでなく地域さらには世界レベルでの持続可能な生産基盤も危うくなる現状や、それに伴う環境効率を無視した物質利用も大規模に進んできています。このような中で、資源の循環利用すなわちリサイクルは、持続可能な資源利用基盤を形成するきわめて有力な手段です。しかし、この資源循環も、経済のグローバリゼーションの流れの中で、一国だけではもはや成立しない状態になってきています。

すなわち、国際的なレベルでの資源循環・管理のシステムの構築が、持続可能な生産の基盤創出のために必要であり、それゆえにそれは、それにかかわる国々の中で、それぞれの産業構造に合わせた資源効率、環境効率の高いシステムである必要があります。

エコマテリアル・フォーラムではそのため重点的方向として「ブランド・リユース」「フォロー・リサイクル」「アーバン・ベネシフィケーション」「ファイン・ケミカル・リサイクル」としてうちだし、循環型社会形成や都市鉱山開発で培われた我が国の蓄積を、国際的に活用できるシステムづくりを進めていきたいと考えています。

今回は、その第一陣として、基本的な国際資源循環の重要性とその方向とともに、現在の資源効率、環境効率に劣る現状での問題点や、さらには今後の方向性の基礎となる技術例などを提示し、議論の出発点としたいと考えている。資源関係、リサイクル関係、環境関係をはじめとする多くの方々のご参加と積極的な討論を期待しています。

日時 2015年1月14日(水) 13:15-16:45

場所 千代田区立日比谷図書文化館 4F スタジオプラス (小ホール)

千代田区日比谷公園1番4号(旧・都立日比谷図書館)

<http://hibiyal.jp/hibiya/access.html>

プログラム

13:15 開会挨拶 エコマテリアル・フォーラム幹事長 篠原嘉一

13:20-14:00 新しい国際資源循環への4つの方向 原田幸明  
物質・材料研究機構 特命研究員

14:00-14:40 ベトナムにおける資源循環の課題 山末英嗣  
京都大学大学院エネルギー科学研究科

14:50-15:30 設備投資を軽減できるモバイルリサイクルを目指して 河邊憲次  
シーエムシー技術開発株式会社 代表取締役

15:30-16:10 新しい国際リユースの可能性について 梅田 靖  
東京大学大学院工学系研究科 精密工学

16:10-16:20 ごあいさつ  
経済産業省 リサイクル推進課 深瀬 聡之  
環境省 大臣官房廃棄物・リサイクル対策部 山田 浩司

16:30-16:45 総合討論 司会 原田幸明

### 参加費

一般(エコマテリアルフォーラム会員以外)	3,000 円
エコマテリアルフォーラム団体会員	無料
エコマテリアルフォーラム個人会員	500 円

資料代 2,000 円

懇親会参加費 4,000 円

なお、この企画は、エコマテリアル・フォーラムの連続企画「世界の”和”の技術としてのエコマテリアルの追求」の一環として取り組んでおり、次回には2月12日に「材料の賞味期限を考える」を予定しております。

連続企画「世界の”和”の技術としてのエコマテリアルの追求」の趣旨

エコマテリアルは1990年代から日本を中心にひろまり、今や環境配慮のない素材は時代遅れのものになろうとしています。一方でパワー・エコノミーのなかでサステナビリティを考慮したモノづくりが問われようとしています。そこで、日本のモノづくりの中で培われてきた技術を中心に、エコマテリアルの経験で育んだ視点で、世界がこれから目指すべきサステナビリティを配慮したモノづくりの技術、いうならば世界の”和”の技術として、発信していく先頭に立ちたいと思っています。

その、取り組みの一つとして、連続シンポジウムを企画します。単なる聴講の場としてだけではなく、今後の方向性をめぐる議論の場にもしていきたいと思っておりますので、皆様の積極的なご参加をお願いします。